

執筆者略歴

上高原 賢志（かみたかはら けんし）

2 等空佐 航空研究センター運用理論研究室 研究員

国立八戸工業高等専門学校卒業、豊橋技術科学大学工学部卒業（学士（工学））、同大学院工学研究科修士課程修了（修士（工学））。

航空自衛隊電子開発実験群、技術研究本部、航空幕僚監部技術第1課、飛行開発実験団、航空幕僚監部先進技術室、同技術課、情報本部、航空開発実験集団司令部を経て現職。

専門は計算機科学、人工知能（特にエキスパートシステム）、科学技術史。研究テーマは軍事における人工知能技術の適用に関する研究、先進技術が軍事領域に与える効果に関する研究等。

著作に、「ウェポン・インストラクション警戒管制レーダの耐故障技術のはなし」『Securitarian』第553号、2003年4月；「ゲーム・チェンジャーを考える これからのマルチドメイン作戦における有効な兵器は何か？」『エア・アンド・スペース・パワー研究』第7号、2021年3月；「第1部 宇宙 第2章 宇宙領域とは」『エア・アンド・スペース・パワー研究』第7号別冊、2021年3月；「第1部 宇宙 第4章 日本の宇宙開発と宇宙機能の全体像」『エア・アンド・スペース・パワー研究』第7号別冊、2021年3月、などがある。

林 紀行（はやし のりゆき）

防衛技官 航空研究センター運用理論研究室 研究員

名古屋工業大学工業化学科（学士（工学））、防衛大学校理工学研究科（修士（工学））。

航空実験団、第2術科学校、航空幕僚監部技術第2課、第1補給処整備部、契約本部、航空幕僚監部情報通信課、同先進技術室、第2補給処調達部、装備庁監察監査室を経て現職。

専門は化学工学。

山本 哲史（やまもと さとし）

3等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室 研究員

神戸商船大学商船学部卒（学士（工学））、名古屋大学大学院国際開発研究科修士課程修了（修士（学術））、同大学院博士課程修了（博士（学術））。

東京大学大学院総合文化研究科特任准教授、モンゴル国立大学法学部日本法教員（名古屋大学法学研究科から派遣）などを経て現職。

専門は、戦略、国際法、人権、難民。

著作に、「シェリングの抑止理論」『エア・パワー研究』第6号、2019年；「抑止理論における認知について」『エア・アンド・スペース・パワー研究』第7号、2021年3月；「第1部 宇宙 第6章 国際宇宙法（宇宙に関する国際法）『エア・アンド・スペース・パワー研究』第7号別冊、2021年3月、などがある。

鳥居 真由子（とりい まゆこ）

2等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室 研究員

名古屋大学文学部卒業（学士（文学））、防衛大学校総合安全保障研究科前期課程修了（修士（安全保障学））、第61期指揮幕僚課程修了。

第2航空団、航空医学実験隊、航空自衛隊幹部学校研究部、航空総隊司令部法務官付、航空幕僚監部首席法務官付法務官（法律支援）付を経て現職。

専門は武力紛争法。

著作に、「サイバー攻撃の武力紛争法上の課題」『エア・アンド・スペース・パワー研究』第7号、2021年3月；「第2部 サイバー 第5章 サイバー空間での対応に関係する国内法及び国際法」『エア・アンド・スペース・パワー研究』第7号別冊、2021年3月、などがある。

工藤 信弥（くとう しんや）

3等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室 研究員

防衛大学校国際関係論学科卒業（学士（国際関係論））、上智大学グローバル・スタディーズ研究科博士前期課程修了（修士（国際関係論））。

第3高射群、第4高射群、防衛大学校防衛学教育学群、航空支援集団司令部、航空自衛隊幹部学校教育部を経て現職。

エア・アンド・スペース・パワー研究（第8号）

専門は、近代日本軍事史。

著作は、「日中戦争期上海における川喜多長政一映画による日中融和を目指して」『コスモポリス』No.9、2015年；「日中戦争期日本陸軍の宣撫工作と映画交流—民心獲得のための活動として」『軍事史学』第52巻第2号2016年9月、などがある。

坂田 靖弘（さかた やすひろ）

1等空佐 航空研究センター防衛戦略研究室長

防衛大学校国際関係論学科卒業（学士（国際関係論））、防衛大学校総合安全保障研究科前期課程修了（修士（安全保障学））、第59期指揮幕僚課程修了、タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修士課程修了（MA）、ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際関係大学院ライシャワー東アジア研究所客員研究員。

航空総隊司令部情報課、航空幕僚監部情報課、外務省アジア大洋州局地域政策課、作戦情報隊第3収集隊長、航空幕僚監部防衛課を経て現職。

専門は、インド太平洋安全保障、同盟論。

著作に、「最近の米国における宇宙政策の動向—トランプ政権2年間の成果と方向性を中心に—」『エア・パワー研究』第5号、2018年12月；「フィリピン空軍の防衛力整備について：航空機の取得を事例として」『鵬友』第43巻第6号、2018年3月、などがある。